

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 愛知県

### （地域における現状・課題）

- ・ 愛知県の学校部活動は、一部で部活動指導員を活用しながら、県作成の部活動指導ガイドラインに沿った活動を行っている。
- ・ 働き方改革の重要性を理解しつつも、学校から部活動を切り離すことに異議や不安を唱える意見は少なくない。
- ・ 地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体との連携などの課題がみられる。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

#### 【部活動の地域移行に関する意見交換会】

県教育長会代表、県校長会代表、県スポーツ協会、県スポーツ局など関係の有識者から、部活動の地域移行に関する様々な課題や意見をいただき、愛知県における地域移行の例の作成に取り組んだ。関係者からは、指導者人材の確保、受け皿の確保、財源の確保等の様々な課題が出された。県が作成する推進計画の素案についても御意見をいただいた。

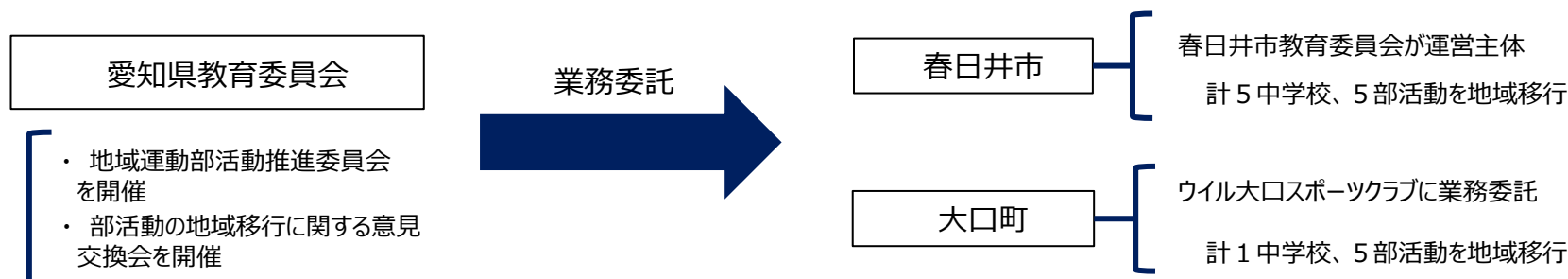
#### 【部活動の地域移行に向けたワーキンググループ】

教育委員会関係各課及びスポーツ局競技・施設課、県民文化局文化芸術課によるワーキンググループを組織し、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、県の推進計画や教員の兼職兼業の在り方等について整理し、検討を進めた。また、地域移行に向けた説明会を立案・開催し、部活動の地域移行に向けた推進計画（案）について説明した。

### （実践研究の成果）

- ・ 市町村の担当者や関係団体の代表者等から、部活動の地域移行に関して生の声を聞き、市町村の進捗状況や考え方についての情報を得ることができた。また、それらを推進計画の作成に活かすことができた。

### （運営体制図）



# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 春日井市

### （地域における現状・課題）

- ・ 地域人材の確保、マッチングする仕組みの構築
- ・ 生徒への適切な指導に必要な地域人材の確保と研修の実施
- ・ 休日における外部指導者（部活動指導員）のみによる効果的な指導方法
- ・ 平日と休日の一貫指導のための連携、協力体制の構築

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：春日井市教育委員会

活動場所：市内5中学校運動場・体育館（東部・中部・高蔵寺・味美・南城）

指導者：部活動指導員（名称：休日部活動指導員）

移動手段：徒歩

責任主体：春日井市教育委員会

活動種目：卓球（高蔵寺・味美・南城） 陸上（東部・中部）

会費等：部費以外は無し

保険：部活動として活動のため費用無し

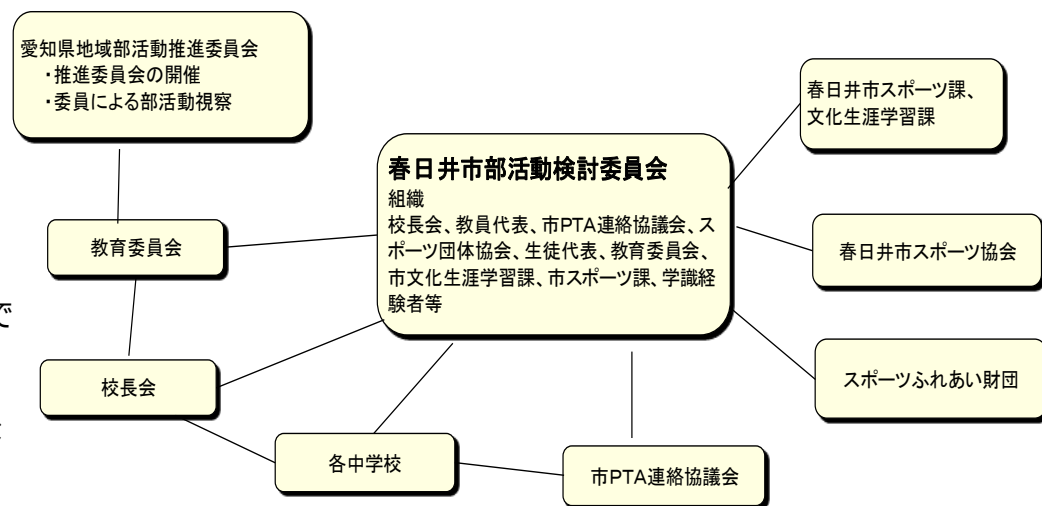
### （実践研究の成果）

- ・ 施設管理に関しては、備品などを準備することで部活動指導員も対応が可能
- ・ 部活動指導員のみで練習メニューなど活動の体制づくりをするのは、時間を要する
- ・ 部活動指導員だけでは指導者が不足⇒**教職員の兼職・兼業**の体制整備が必要⇒**総括コーディネーターの配置**へ

### （運営体制図）

部活動指導員を教育委員会にて任用⇒各校に派遣

- ・ 部活動指導員
- ・ **主任部活動指導員**（平日・休日とも単独で指導できる）
- ・ **休日部活動指導員**（休日は教職員がいなくても指導できる）



団体名	関わり方・役割
春日井市部活動検討委員会	持続可能な部活動の在り方について検討
市教育委員会	事務局
校長会	地域スポーツ活動の実施についての助言
スポーツ課・文化生涯学習課	部活動の地域移行への検討、生徒の居場所づくりの検討
スポーツふれあい財団	総合体育館の利用等について
春日井市スポーツ協会	各種種目の競技連盟や協会（競技大会企画、運営）

# 令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

## 丹羽郡大口町

### （地域における現状・課題）

- ・中学校の部活動が継続困難（指導者不足）となり、苦渋の決断で廃部していた水泳部が令和3年度よりスポーツクラブの協力により復活し、令和4年度も継続。
- ・令和3年度の3部活から5部活へ指導者派遣の範囲を広げ、顧問の負担を軽減。（公費負担）
- ・平日と休日の一貫した指導を行えるように指導者をスポーツクラブから派遣。
- ・「学校で行う教育活動としての部活動」と、「地域クラブ活動」は別のものとして整理し、学校として部活動をどうするのかという方向性を決め、その現状を地域へ伝えていくことを働きかけることは、今後の課題。
- ・学校部活動を継続する場合は公費とし、地域クラブ活動における会費補助体制を検討。

### （地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：ウィル大口スポーツクラブ / 大口町教育委員会

活動場所：大口中学校、オークマ温水プール（指定管理者：ウィル大口スポーツクラブ）

指導者：スポーツクラブ職員、スポーツクラブ登録指導者

移動手段：徒歩、自転車

責任主体：大口町教育委員会 / ウィル大口スポーツクラブ

活動種目：水泳、サッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上

会費等：0円

保険：0円

### （実践研究の成果）

- ・教師・・・外部指導者により、教師の負担を軽減。（指導者としての精神的な負担、指導に当たる生徒数の分担）
- ・生徒・・・専門的な指導、効率的な練習方法を学べる。
- ・全体・・・学校部活動と地域クラブ活動の考え方を整理。

### （運営体制図）

